

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

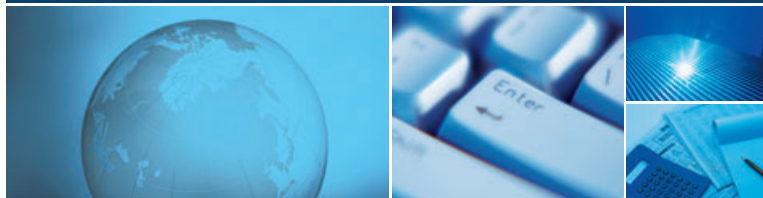
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

お知らせ 住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

公告方法 電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.advanced-media.co.jp/ir/>)
に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



2011 Interim AMI Report



第14期 中間報告書 2010.04.01～2010.09.30

Corporate Data

会社概要 (2010年9月30日現在)

会社名 株式会社アドバンスト・メディア
設立 1997年12月
資本金 45億8,509万円
取引銀行 三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、他
所在地 本社 〒170-8630
東京都豊島区東池袋3-1-4
サンシャインシティ文化会館6階
Tel:03-5958-1031 (代表)
Fax:03-5958-1032

連結子会社 AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国)
業務提携先 Multimodal Technologies, Inc. (米国)
(持分法適用関連会社)



Vision

Human Communication Integrationの実現

アドバンスト・メディアは、
「機械」との自然なコミュニケーションを実現し、
豊かな未来を創造します。

株式会社アドバンスト・メディア

証券コード：3773

To Our Shareholders

株主・投資家の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第14期中間報告書をお届けし、当社事業概況のご理解の一助となれば幸いです。

当社は「Human Communication Integrationの実現」を基本理念とし、音声認識技術**AmiVoice**®をコアとした新しい価値の創造に取り組んでおります。今後も人が機械に自然に意思を伝えられるソフトコミュニケーションの時代を実現すべく、有用な最先端技術を広く社会へ普及させ、その実用化を通して、社会にとって、人にとって、真に「楽しく」「便利」な世界を実現し「無くてはならない」存在を目指してまいります。

そのような中、中期経営計画の最終期である第14期は、前期および前々期より取り組んでまいりました各施策が成果として表れております。中でも当中間期は、東邦薬品株式会社と共同で開発をした「ENiVoice SP」（調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システム）や、コンシューマ向け音声認識ソフト「**AmiVoice**®SP」等の販売を順調に伸ばすことができました。また、スマートフォンを中心としたモバイル分野の取組強化も継続的に行い、iPhone向けアプリでは累計で27万ダウンロードを超える実績を残しました。さらには、当社連結子会社であるAMIVOICE THAI CO.,LTD.（タイ王国）の売上を伸ばすことができました。

また、平成22年8月31日付で、当社の取締役、監査役、従業員および当社関係者に対し有償での新株予約権を発行いたしました。本新株予約権の行使の条件は、当社の第14期乃至第16期の各事業年度に係る連結損益計算書において営業利益が計上されることを条件といたしました。被割当者の意欲および士気向上等を促進し、株主の皆様の早期の営業黒字というご期待に応えてまいりたいと考えております。

下期も中期経営計画の各施策を継続的に行い、売上の増大による収益の拡大を実現し、さらなる企業価値の向上に繋がるよう、全社員が一丸となり事業を推進していく所存でございます。

今後とも、株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

TOPICS

トピックス

1

大同生命保険株式会社が「コンタクトセンター・アワード2010」最優秀テクノロジー部門賞を受賞

～「音声認識システム」と「苦情確率モデル」を融合したコールセンター苦情把握体制の強化～

当社のコールセンター向け音声認識ソリューションを導入して頂いている大同生命保険株式会社が「コンタクトセンター・アワード2010」最優秀テクノロジー部門賞を受賞。

当社の音声認識技術と大同生命株式会社のコールセンターにおける長年の経験とノウハウをもとにした苦情確率モデルを活用し、コールセンターでの苦情把握体制を強化する事で、お客さまの「生の声」を捉える事が評価されました。

今後もコールセンター向け当社製品「**AmiVoice**® **Communication Suite**」は、コールセンターにおける「業務の効率化の実現」「顧客の声（VOC）の分析」「コンプライアンスの強化」等の様々な課題に応えていくことで、さらなる普及を目指します。

2

コンシューマ向け音声認識ソフト「**AmiVoice**®SP」を新発売

～音声入力でメール・ブログ・チャット・論文・メモなどを簡単に作成～

平成22年7月23日付で、音声入力によってパソコンに文字入力ができる音声認識ソフト「**AmiVoice**®SP」（アミボイス エスピー）の販売を開始いたしました。

「**AmiVoice**®SP」は、話すだけで簡単に文字入力できる音声入力ソフトです。事前の声の学習は一切不要なので、いつでも誰でもすぐにご利用いただけ、使えば使うほど認識精度が向上します。キーボード入力と比較し2～3倍早く入力することが可能です。（※当社調べ）各種報告書や電子メールの作成などのビジネス用途、チャットやブログなどのプライベートでの使用など、入力作業の効率化を実現いたします。

Financial Information

連結業績概要

当社グループは、第12期を初年度とする中期経営計画の各施策に取り組んでおりますが、当連結会計年度は「JUI (Joyful-楽しい、Useful-便利、Indispensable-無くてはならない) による売上拡大・安定収益モデルの確立」に向けて事業を推進しております。

売上高

- 医療分野において東邦薬品株式会社と共同で開発した調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システムに新機能を追加した新製品「ENIVoice SP」が当初計画を上回る販売実績で推移いたしました。
- コンシューマ向け製品として、パソコンに向かってしゃべるだけでリアルタイムに文字化できる音声認識ソフト「**AmiVoice®SP**」の販売が順調に立ち上がりました。
- 当社連結子会社であるAMIVOICE THAI CO.,LTD. (タイ王国) の売上が当初計画を上回る実績となりました。
- 当初想定していた金融・製造分野の受託開発案件の獲得が計画通りに進みませんでした。

これらの結果、全体での売上高は前年同四半期連結累計期間を上回ったものの当初計画には至りませんでした。

損益

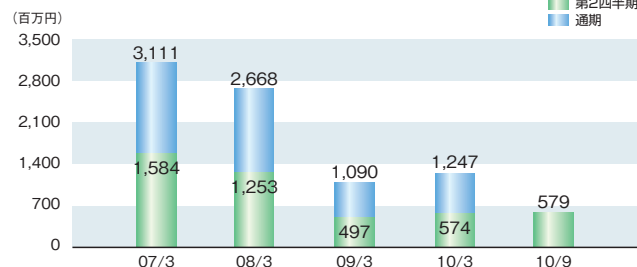
- 受注プロジェクトの峻別、プロジェクトの進捗管理の徹底による粗利益率の管理を継続的に行いました。
- 販売費及び一般管理費についても計画以上の水準を達成いたしました。
- 持分法適用関連会社Multimodal Technologies, Inc. (米国) の業績が当初予想を上回りました。
- 貸倒実績率が改善したことによる貸倒引当金戻入額を特別利益に計上いたしました。

これらの結果、当初計画よりも赤字幅を縮小いたしました。

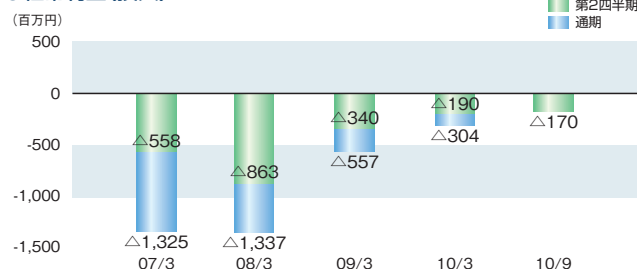
当中間期の売上高は579百万円（前年同四半期は売上高574百万円）、営業損失は208百万円（前年同四半期は営業損失202百万円）、経常損失170百万円（前年同四半期は経常損失190百万円）、四半期純損失は145百万円（前年同四半期は四半期純損失128百万円）となりました。

財務ハイライト

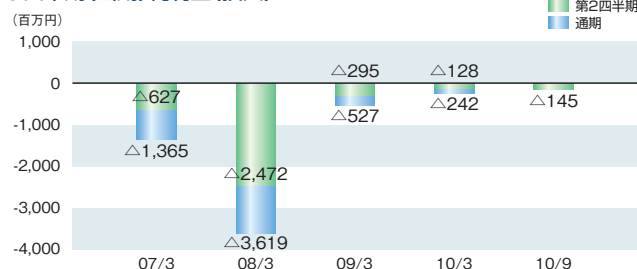
●売上高



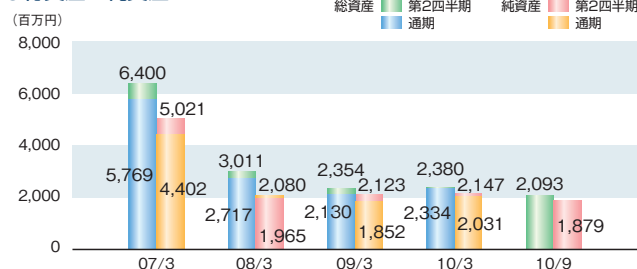
●経常利益(損失)



●四半期(当期)純利益(損失)



●総資産・純資産

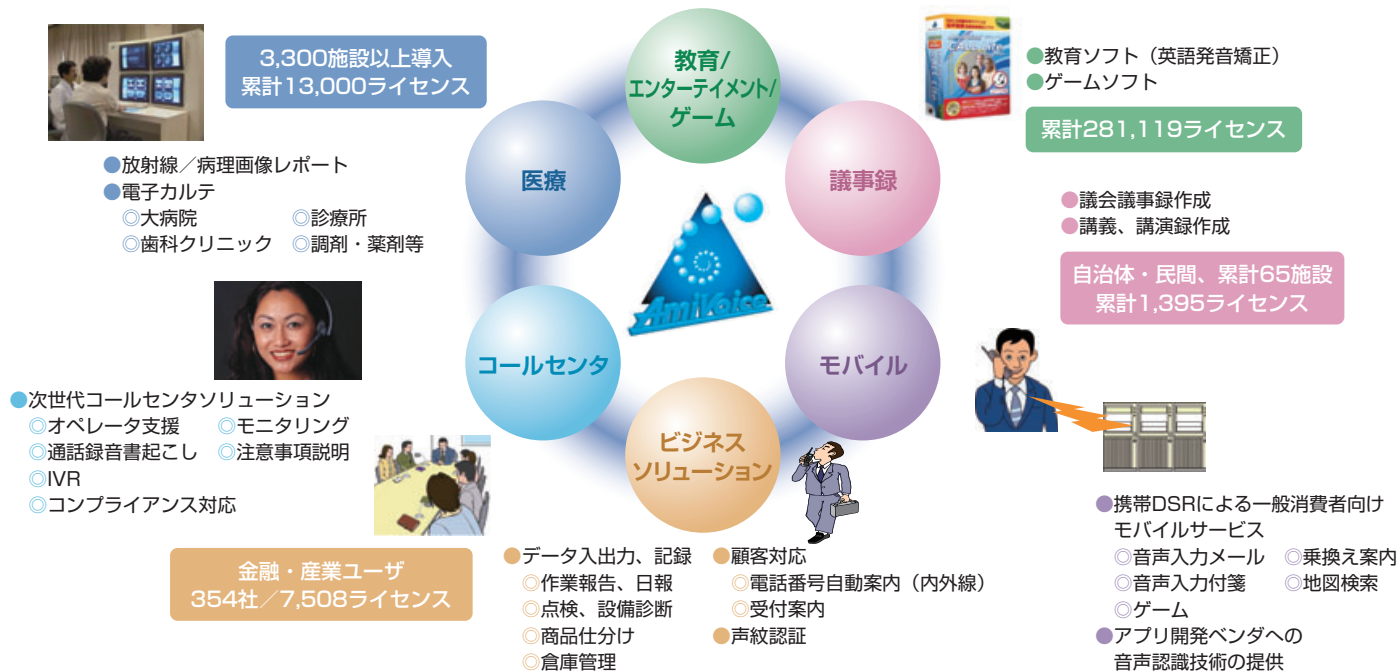


※2009年3月期に連結子会社の整理をしたため、売上高が減少しております。

Segment Review

事業分野の概況

AmiVoice®は、着実にライセンス数を伸ばし、一般消費者、企業で実用化が加速しています。



①金融・製造分野

金融・製造分野においては、前期より販売を開始したコールセンタ向け新製品「AmiVoice® Communication Suite」を当連結会計年度の戦略商品と位置付け、営業活動を推進いたしました。受託開発案件の獲得が計画通りに進まなかったものの、売上高は前年同四半期連結累計期間を上回りました。

②モバイル・教育・エンターテインメント分野

モバイル分野においては、iPhone向けアプリ「音声認識メールST」（スタンドアロン版）をバージョンアップさせたiPad/iPhone4対応バージョンの配信を開始し、ユーザーインターフェイスを一新し使い勝手を向上させました。また、教育分野においては、新たに株式会社ニチイ学館が運営するeラーニング「まなびネット/Webカレッジ」の「なりきりトラベル英会話」講座に当社音声認識技術が採用されました。

③医療分野

医療分野においては、東邦薬品株式会社と共同で開発した調剤薬局向け音声認識薬歴作成支援システムに新機能を追加した新製品「ENIFvoice SP」が当初計画を上回る販売実績で推移いたしました。

④議事録分野

議事録分野においては、当中間期に新たに5件（愛知県豊川市議会・富山県黒部市議会・鹿児島県南さつま市議会・岡山県真庭市議会・広島県江田島市役所）の案件を獲得し、納入実績の累計を65件に伸ばしました。